

平成 30年 3月



## 保養所「レイクサイド入鹿」を閉館

共済組合は、組合員及びその家族の方々の福利厚生事業として、昭和57年11月より保養所「レイクサイド入鹿」の施設運営を行ってまいりましたが、近年の経済情勢の変化、利用者のニーズの多様化などさまざまな要因から施設利用者が年々減少してまいりました。

また、このような厳しい環境に加え、施設の老朽化に伴う将来的な大規模修繕と施設の更新が想定されることから、平成22年度から保養所運営委員会において、委託方式を含めた今後の運営方法について協議が開始され、その答申により、直営による運営方式を継承し、平成25年度以後は、独立採算による運営確保を目指して保健経理からの繰入れを行わず、収支改善策ならびに利用増進策を講じて運営を行ってまいりました。

その結果、宿泊利用者数は改善いたしましたが、宿泊経理の収支について当期損失金の計上が継続し、平成27年度末決算時に繰越欠損金が累積する状況を踏まえ、本年6月30日開催の第178回組合会において決議がされ、**保養所「レイクサイド入鹿」は平成30年3月31日をもって閉館**することとなりましたので、お知らせいたします。

永年のご愛顧、ご支援に対しまして、深く感謝申し上げますとともに厚く御礼申し上げます。



限られた期間ではございますが、今後もぜひご利用いただきますよう、お待ち申し上げます。